

尻別川産イトウ個体群（オビラメ）
復元のための稚魚放流計画についてのお知らせ

各位

ひごろより「尻別川の未来を考える オビラメの会」の活動にご理解とご協力をいただき、たいへんありがとうございます。当会は2001年に「オビラメ復活30年計画」をスタートさせ、尻別川で絶滅の危機に瀕しているイトウ（サケ科、絶滅危機種）の野生個体群の復活を目指しています。住民のみなさまや北海道立水産孵化場をはじめとする研究機関のバックアップをいただきながら、昨年、今年と、念願の尻別川産イトウの人工繁殖に成功しました。この成果は地域のみならず全国のみなさまより祝福をいただいているところです。

さて、約5000匹の稚魚は現在、北海道立水産孵化場（恵庭市内）で手厚く飼育され、順調に成長しています。同計画に基づいて、当会はこのたび、北海道立水産孵化場、北海道環境科学研究センター、北海道工業大学、民間研究機関などの専門研究者諸氏のご指導とご協力を受けながら、イトウ稚魚再導入のための最初のモデル地区として尻別川支流・俱登山（くどさん）川流域の複数のポイントを選定し、きたる9月25日（土曜日）、第1回のイトウ稚魚放流（放流数は計約1500匹）を実施することを決定しましたのでご案内申し上げます。（詳細は別紙1）

当会はすでに放流ポイント周辺で地形・河川構造・動植物相の事前調査をおこなっており、地域にお住まいのみなさまや関係行政機関にも当会への活動計画へのご理解とご協力をお願いしています。また放流後にも稚魚やほかの自然環境の変化を追跡するモニタリングを計画しています。さらにこの再導入事業の意義を広くお知らせするためのミニシンポジウムを今秋中にも開催する予定です（別紙2）。

尻別川の河川管理に携わられる各機関に対しては昨年暮れ、「俱登山川復元のための要望書」を提出し、それぞれご回答をいただきました。稚魚放流ポイントの一部は、河川構造物によって下流域と分断され、放流したイトウたちの生活の妨げとなる可能性があります。稚魚たちが親魚に成長する5～6年後までに適切な方法によって問題を解決できるように知恵を絞っていきたいと考えています。

以上のような当会の活動に、今後いっそうのご理解とご支援を賜りますよう、会員一同、深くお願い申し上げます。

尻別川の未来を考える オビラメの会
代表 草島清作 虻田郡倶知安町北5条西3丁目4-21
事務局 吉岡俊彦 虻田郡ニセコ町富士見65
電話／ファクス 0136-44-2472
<http://homepage3.nifty.com/huchen/Obirame/index.html>
本資料は上記url「オビラメウェブサイト」でも公開しています。

(別紙1)

【第1回 尻別川産イトウ（オビラメ）稚魚放流のスケジュール】

2004年9月25日（土曜）雨天決行

| | |
|---------|---|
| 午後1時 | 尻別川本流「富士見橋」右岸駐車場に集合 参加者に事前説明、最終打ち合わせ |
| 午後1時30分 | 放流場所（尻別川支流俱登山川流域）に向けて出発 |
| 午後2時 | 放流場所に到着 |
| 午後3時15分 | 放流終了 |
| 午後3時30分 | 「富士見橋」に帰着、反省会、解散 |

○上記スケジュールは、諸般の事情により直前になって変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

○イトウ放流地点の正確な位置は、当日午後1時から開く事前説明時にご説明します。放流地点でイトウ乱獲が起きる危険をできるだけ避けるため、どうぞご理解ください。

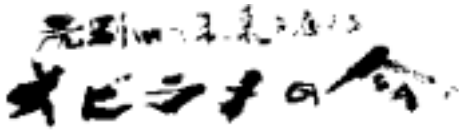
○付近の農家の方へのご迷惑を避けるため、放流地点には数台のクルマに乗り合って移動します。

○放流前日までのお問い合わせは、電子メール PXN04427@nifty.com（広報担当 平田剛士）にお願いします。当日のご連絡・お問い合わせは当会事務局（電話0136-44-2472、携帯電話090-1523-9628、事務局長 吉岡俊彦）にお願いします。

○「オビラメの会」の活動について、より詳しくお知りになりたい方は、オビラメの会ウェブサイトをぜひご活用ください。

<http://homepage3.nifty.com/huchen/Obirame/index.html>





(別紙2)

オビラメの会ミニ・シンポジウム in さっぽろ 「イトウ再導入への挑戦」のご案内

北海道尻別川に生息する「南限のイトウ」の保護活動を続けている「尻別川の未来を考える オビラメの会」(草島清作会長、事務局・ニセコ町)は、尻別川流域でこの秋初めて実施する稚魚放流の経過報告会と討論会を下記要領で開催します。

絶滅危機にある個体群を救い、地域の生物多様性を復元するために、私たちはこれからどんな手段で課題に取り組んでいくべきなのでしょう？ 討論形式で意見を交わします。

オビラメの会ミニ・シンポジウム in さっぽろ「イトウ再導入への挑戦」

とき 2004年10月28日(木曜日)午後6時半～8時半
ところ 北海道環境サポートセンター多目的ホール
札幌市北区北7条西5丁目5番 札幌千代田ビル1F
電話 011-707-9025
入場料 無料
(どなたでもご参加いただけます。直接会場にお越しください。
定員45人になり次第、締め切ります)
主催 尻別川の未来を考える オビラメの会
問い合わせ 同会事務局 電話/ファクス 0136-44-2472 (吉岡俊彦)
電子メール PXN04427@nifty.com

◆第1部 報告会「尻別川産イトウ(オビラメ)稚魚初放流について」
報告者(予定)

川村洋司氏(北海道立水産孵化場主任研究員、オビラメの会会員)

江戸謙顕氏(学術振興会科学技術特別研究員、同上)

◆第2部 討論「イトウ再導入、これからの課題」

パネリスト(未定)